

## ■ワールドビジョン・ジャパンより、 チャイルド・スポンサーシップについてのお知らせ

私たちの教会ではワールドビジョン・ジャパンが行っているチャイルドスポンサーシップに協力し、支援を必要としている世界の子どもたちに支援金を送っています。各会や個人でも行っていますが、教会としては3名を支援しています。

このうち、アフリカのコンゴ共和国に住む、君について

では、ワールドビジョンが進めてきた地域開発プログラムが終了することからベン君への支援も今年の9月で満了すると連絡がありました。地域開発プログラムは現地の人々の手に託されるとのことで、これまでの支援への感謝の言葉が届いています。教会としては、引き続き他の地域の子どもの支援を行います。世界で助けを必要としている子どもたちと、彼らをケアするワールドビジョンの働きのためにこれからも祈りましょう。

## 【礼拝賛美】 神の国と神の義を

(2回くりかえし)

神の国と神の義を まず求めなさい  
そうすればみな与えられる  
ハレル ハレルヤ

## 【報告 消息】

・先週の大掃除にご協力くださった兄弟姉妹に感謝致します。普段は手が届かない壁や窓ガラスの拭き掃除や、エアコンのフィルターもキレイにしました。暑い中でしたが、協力して効率よくできました。ありがとうございます。

また、日頃からの会堂清掃、トイレ掃除へのご協力も感謝です。これからも、主から託された会堂を協力してキレイに保ちましょう。

・このところ、久しぶりに来会の方が多く、たいへんうれしく思います。やはり、お顔が見えるのは感謝ですね。

No.14 2023・7・2

## 「人々は生き返った青年を連れて帰り、ひとかたならず慰められた。」

(使徒の働き 20 章 12 節)

聖書には、死者が甦らされた事例がいくつか記されます。イエス様による、ナインのやもめの息子(ルカ7章)、会堂管理者ヤイロの娘(マルコ5章)、ベタニア村のラザロ(ヨハネ11章)の事例。イエス様だけでなく、エリヤ、エリシャ、ペテロも主にあって死者を復活へと導く奇蹟を行っています。

これらはもちろん特別な事例ですが、創造者なる神が、命の与え主であり、人を憐れんでくださることを示しています。そして、パウロも、そのような奇蹟を行いました。

この時のパウロは厳しい状況でした。3回目の伝道旅行の途上でエルサレムに帰る道にありました。けれども、その道中は重苦しい空気をまとっていました。パウロは

御霊に導かれて、苦しみを負うためにエルサレムへの道を進んでいたのです(使徒十九21、二十二22、23)。

そんなパウロを力づけたのが教会の交わりです。「週の初めの日に、私たちはパンを裂くために集まった」(7)とは礼拝と聖餐を示します。夜通し語り合ったのは、パウロにとって教会の交わりが励ましに満ちていたからでしょう。

その最中に事件が起こりました。青年ユテコが窓から転落し、聖書は彼が「死んだ」と記します。しかし、パウロが抱きかかえるのと生き返りました。この箇所について、聖書の註解者や説教者は、他の甦りの奇蹟とは様子が違っていると指摘します。それは、パウロが

死んだユテコに何かの動作を働きかけたり言葉を掛けたりしていないということ。この箇所が強調しているのは、パウロが奇蹟を行ったことではなく、「礼拝において命が回復した」ことだと言われます。礼拝の中心に命の主がおられ、人は礼拝に加わることを通して霊の命が新しくされ、心と体も刷新されることを示しているのです。ですから礼拝に加わることは私たちが信仰の命を保つために不可欠です。

そしてもう一つ覚えたいことは、神が私たちの苦難の中に共におられるということです。12章には「励まし」と「慰め」という言葉が出て来ます。これらの言葉(ギリシヤ語でパラクレーオ)は聖霊を表す言葉(パラクレートス)に繋がります。神は、私たちの試みの中に共におられ、慰めと励ましを示して力づけてくださいます。(泰)

7月2日聖日礼拝

第1礼拝 9時 録画放送

第2礼拝 11時 菊地兄 高橋美姉

招詞 詩篇100篇1〜3節

会衆賛美 聖歌28

会衆賛美 神の国と神の義を(2回)

主の祈り

交誦 詩篇25篇1〜5節

礼拝祈禱

使徒信条

聖書朗読 使徒の働き

20章7〜12節

説教 慰めと励ましの共同体

荻野泰弘牧師

会衆賛美 聖歌628

献金

頌栄 聖歌376

祝祷

報告

後奏 感謝祈禱

【招詞(主の招きのことば)】

詩篇100篇1〜3節

「全地よ 主に向かって喜びの声をあげよ。喜びをもって主に仕えよ。喜び歌いつつ御前に来たれ。知れ。主こそ神。主が 私たちを造られた。私たちは主のもの 主の民 その牧場の羊。」アーメン

【本日の予定】

■会堂清掃 第1・第2礼拝終了後

■小学科ホザナ礼拝 3階 11時

お話し 若月姉

■バイブルカフェ

談話室 12時15分〜

■管理部会

中止 (後日延期とします)

■多磨霊園納骨堂開放

14時〜15時

■オールシオン青年キャンプ

打ち合わせ 17時〜

【本日の礼拝奉仕者】

■第1礼拝

礼拝祈禱 司会者

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱 司会者

報告

受付

配信

■第2礼拝

礼拝祈禱

聖書朗読

献金1階

1階

2階

献金祈禱

報告

会場

受付

司会者

—

【次週の礼拝】

〔説教者〕 荻野牧師

〔聖書箇所〕

ガラテヤ人への手紙

6章1〜10節

本日は、荻野牧師が体調不良のため、大事を取っての特別対応です。

先週、木曜日の夜に高熱ではないのですが発熱がありました。金曜日の朝に行った抗原検査は陰性でした。疲れからくる持病の副鼻腔炎の再発と思われる。

しかしながら、大事を取って、本日の礼拝は左記の対応とします。

【第1礼拝】

事前に録画した動画を放送します。

【第2礼拝】

通常通りに礼拝を行います。説教部分のみ録画放送です。

【聖餐式】

次週9日に延期します。



今はコロナ感染者が増加していると報じられています。一方でコロナ自体は弱毒化が進んでいるとも言われます。また、この時期は梅雨の不順な天候と真夏を思わせる暑さで体調を崩しやすい頃です。礼拝出席・教会への来会は、体調のすぐれない方は無理をしないでいただき、集まれる方は感染対策に留意して集まり、活動を継続しましょう。恐れすぎず、けれども軽く扱わず、対応していきたいと思えます。

・今年はこちらから夏のプログラムが始まります。神様の助けのうちに実施できるようにお祈りください。

・例会について  
来週のみモザ例会は実施の予定です。23日にはダニエル会とオリーブ会も予定しています。  
感染対策に気をつけながら行いましょう。

【第65回霊修会】(詳細は申込書にて)

《早割り申し込み期限》

本日まで

次週以降も申し込みは受け付けません。ただし、早割は適用されませんのでご了承ください。

〔日程〕 8月22日火〜23日水

〔会場〕 Y M C A 東山荘 (御殿場)

〔講師〕 林 正弘 師

インマヌエル綜合伝道団

船橋教会主任牧師、聖宣神学院院長

※蒲田シオン〜東山荘の往復送迎車

金額 4,500円(往復)

(電車・タクシーの利用と同等です)

往復送迎車の利用を希望される方は登録の際にお知らせください。

【夏のキャンプのためにもお祈りください】

\*オールシオンホザナキャンプ

(中学生)

8/3(木)〜5(土)

\*小学科キャンプ(蒲田・茅ヶ崎連合)

8/25(金)〜26(土)